

2005年 学会活動報告

- | | |
|-------------------|--|
| 2005年 2月 27日 (日) | 筑波大学学校教育局にて第1回幹事会を開催。 |
| 2005年 4月 9日 (土) | 筑波大学学校教育局にて第2回幹事会を開催。 |
| 2005年 6月 11日 (土) | 筑波大学学校教育局にて第3回幹事会を開催。 |
| 2005年 7月 9日 (土) | 筑波大学学校教育局にて第4回幹事会を開催。 |
| 2005年 9月 3日 (土) | 筑波大学学校教育局にて第1回編集委員会を開催。 |
| 2005年 9月 10日 (土) | 筑波大学学校教育局にて第5回幹事会を開催。 |
| 2005年 10月 19日 (水) | 筑波大学学校教育局にて第2回編集委員会を開催。 |
| 2005年 11月 5日 (土) | 筑波大学学校教育局にて第3回編集委員会を開催。 |
| 2005年 11月 19日 (土) | 「会報」第73号を発行。
筑波研修センターにて筑波社会科教育学会第24回大会を開催。
学会の改組と学会名および雑誌名の改称が決定される。 |
| 2005年 12月 10日 (土) | 筑波大学学校教育局にて第4回編集委員会を開催。 |
| 2005年 12月 31日 (土) | 「中等社会科教育研究」第24号を発行。 |

【編集規定】

- (1) 本誌は中等社会科教育学会の機関誌である。
- (2) 本誌は年1回発行するものとする。
- (3) 本誌は本学会の会員の研究およびそれに資する情報の発表の場である。
- (4) 本誌の編集は本学会の編集委員会が担当する。
- (5) 本誌に掲載する原稿は、すべて編集委員会を経由しなければならない。
- (6) 本誌に掲載する原稿の採否は、レフリーの審査を経た後に委員会が決定する。
- (7) 本誌に掲載する原稿について、編集委員会は執筆者に内容の変更を要求できる。
- (8) 本誌に掲載することが編集委員会において決定した原稿・フロッピーディスクは返却しない。
- (9) 本誌に掲載する原稿の執筆者による校正は第1校までとする。その後の校正是編集委員会が行う。
- (10) 本誌に掲載された論文・記事等の抜刷は執筆者の希望によって作製するが、その作製費・輸送費はすべて執筆者が負担するものとする。
- (11) 本誌に掲載する原稿の図版等で、特別の経費を必要とするものについては、執筆者が負担するものとする。

【執筆要領】

- (1) この機関誌への投稿は、本学会の会員に限られる。非会員と連名での投稿の際は、非会員の者は入会手続きを取らなければならない。ただし、編集委員会からの依頼原稿の場合は、この限りではない。
- (2) この機関誌への投稿原稿は、未発表のものに限られる。ただし、口頭で発表したものや私的に配布した印刷物の場合は、この限りではない。
- (3) 投稿は以下のものである。

論説	社会科教育の歴史・理論および海外の事例などについての研究 20,400字以内
実践論文	学校教育・社会教育などでの自らの社会科教育の実践をふまえた授業研究 16,800字以内
研究ノート	社会科教育の歴史・理論・事例研究や提言 12,000字以内
授業レポート	社会科の授業や展示の実践紹介 3,600字以内
社会科教育情報	社会科教育に関連した有益な情報の提供 2,400字以内
書評	社会科教育に関連した書籍の批評 2,400字以内
図書紹介	社会科教育に関連した書籍の紹介 400字以内

- (4) 投稿原稿の本文は必ず一字太郎かWordを使って作成する。その際にA4判で横書き、40字×30行でページ設定する。手書き原稿は受理しない。
- (5) 投稿原稿は完全成稿とし、打ち出し原稿には図表も貼付する。
- (6) 投稿の際は、打ち出し原稿3部を編集委員会宛に送付する。掲載が決定した場合は、フロッピーディスクの形でデータを提出する。
- (7) 投稿の際には、必ず執筆者の名前・よみがな・所属（職名その他をふくむ）・連絡先（郵便番号・住所・電話番号・電子アドレス）を明記する。
- (8) 投稿の際のあて先は

〒112-0012 東京都文京区大塚1-9-1 筑波大学附属高等学校 野口 剛

tnoguchi@high-s.tsukuba.ac.jp

とする。

- (9) 投稿を希望する者は、6月末日までに上記あて先まで事前に連絡をする。

編集後記

筑波大学社会科教育学会から中等社会科教育学会に、発展的に学会名が変更されたのにともない、学会誌も「筑波社会科研究」から「中等社会科教育研究」へと名称が変更になった。学会誌の内容もバージョンアップを図り、理論的論文だけでなく、実践論文、授業レポートなどの項目をつくり、理論・実践の両輪をめざした社会科教育としての学会誌であることを強く打ち出した。さらに、表紙のデザインも工夫を重ね、筑波大学の校色ともいえる紫を配し、伝統と創造性、新鮮さをイメージした表紙となっている。

本号は、改称されてからの初めての号であるが、「筑波社会科研究」を継続するもので、第24号となり、多くの論稿、報告を掲載できたと自負している。中等社会科教育学会の発足以前から編集委員会は、社会科の各領域で活躍されている先生方に編集委員になってもらい、編集作業を続けてきた。本号は、「中等社会科研究」としては初の号になるので、編集委員会からの依頼原稿が多かったが、査読も手続きを踏んで、慎重におこなった。全国学会に恥じない学会誌とするため、今後とも査読には力を入れたい。

次号からは、6月末までに投稿の意志を編集委員会に申し出てもらい、8月末の原稿締め切り、そして査読、修正依頼、再投稿の手順で、毎年12月末には発行という編集スケジュールを組んでいる。できるだけ多くの会員の研究成果を載せる方針なので、会員各氏の積極的な投稿をぜひお願いしたい。なお、編集事務局は筑波大学附属高校の野口先生にお願いしているが、負担のことを考慮し、編集事務局は2年ごとに代えていく予定である。会員のご理解とご協力をお願いします。

(井田仁康)

編集委員会

委員長	井田 仁康	(筑波大学)
委 員	大野 新	(筑波大学附属中・高等学校)
	栗原 久	(信州大学)
	須賀 忠芳	(福島県立会津高等学校)
	田尻 信壹	(筑波大学附属高等学校)
	寺本 誠	(お茶の水女子大学附属中学校)
	野口 剛	(筑波大学附属高等学校)
	平久江祐司	(筑波大学)
	谷田部玲生	(国立教育政策研究所)